

各 位

会 社 名 竹 田 i P ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 COO 兼 CFO 細野 浩之
(コード番号 7875 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 上席執行役員 企画財務本部長 巻尾 忠臣
TEL (052) 871-6351

中期経営計画の進捗に関するお知らせ

当社は、2024 年 5 月 14 日に 2024 年度から 2026 年度までの 3 年間を対象とする中期経営計画（以下、本計画）を公表いたしました。2025 年 5 月 14 日に「2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて開示しました 2024 年度の業績及び 2025 年度の業績予想を踏まえ、本計画の進捗について下記のとおりお知らせします。

記

1. 中期経営計画における連結財務目標についての進捗と今後の見通し（変動箇所：太字下線）

	2024 年度 (2025 年 3 月期)		2025 年度 (2026 年 3 月期)		2026 年度 (2027 年 3 月期)
	計画	実績	計画	見通し(予想)	計画
連結売上高（百万円）	33,000	34,198	34,000	34,500	35,500
連結営業利益（百万円）	1,100	1,375	1,300	1,450	1,630
連結営業利益率（％）	3.3	4.0	3.8	4.2	4.6
ROE（％）	5.2	7.0	5.6	5.6	7.0
PBR（倍）	0.53	0.43	0.65	0.65	0.70
配当/株（円）	33	37	37	37	47
配当下限/株（円）	30	30	33	33	37
配当性向（％）	30.6	(注) 24.6	31.4	31.0	30.8

(注) 繰延税金資産の追加計上により法人税等調整額(△は利益)を△209 百万円を追加計上し、当期純利益が増加しました。この増加分は会計上の取り扱いに起因し、現預金の増加も伴わないため、配当算定対象から除いております。なお、当該影響額を控除した当期純利益で再計算した配当性向は 29.6%となります。

2. 2024 年度の業績概要（詳細については「2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。）

初年度の 2024 年度は、人件費の高騰に対する販売価格への転嫁が浸透し、情報コミュニケーションでは印刷事業で紙媒体需要を着実に取り込むとともに、グローバルパッケージ事業やロジスティクス(BPOサポート)事業なども好調に推移しました。ソリューションセールス、半導体関連マスクも堅調に推移したため、売上高、営業利益、営業利益率は計画を上回り、本計画 2 年目(2025 年度)の計画を 1 年前倒しで達成しました。

3. 今後の見通しについての説明と方針

本計画の戦略や施策、最終年度となる 2026 年度の計画に修正はありません。2025 年度の業績予想につきましては、前期実績と今後の業況を勘案し、売上高 345 億円、営業利益 14 億 50 百万円、経常利益 15 億 50 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 10 億円と見立て、上記 1. の見通しといたしました。

当期純利益が事業構造改革の関連費用の計上と上記 1. の注記内容（前期における一過性の増益要因）による影響により、前期実績（12 億 48 百万円）から 19.9%減少するため、配当性向は目標の 30%以上を確保いたしますが、ROE は前期を下回る予想です。PBRは本計画に掲げる収益力の強化、積極的な事業投資、株主還元強化、資本政策を推進するとともに、株価向上に資する積極的なIR活動を行い、継続的な向上に努めてまいります。

(注) 業績予想等につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上